

青森県支部

青森県の中小企業のＩＴ化の現状と今後の展望

青森県支部では、平成 17 年度の「調査研究事業」のテーマを昨年に引き続き「青森県の中小企業のＩＴ化の現状と今後の展望」とし、今年度は卸・小売業を対象にして調査研究を実施した。内容は、5 章構成とし、第 1 章が青森県企業のＩＴ化の歴史、第 2 章が青森県企業のＩＴ化の現状、第 3 章が事例研究、第 4 章が青森県中小企業ＩＴ化の今後の展望、第 5 章がアンケート集計結果である。

第 1 章「青森県企業のＩＴ化の歴史」では、県内企業のＩＴ化について財団法人 21 あおり産業総合支援センターが、昭和 57 年度より県内企業の情報化の実態について行っている調査報告書をもとに、県内企業のＩＴ化の変遷を追っている。調査結果では、利用者（企業）が抱える問題点で、「プログラムの開発難」や「コンピュータ要員の確保難」がいずれの年度でも上位に回答されており、県内企業のＩＴ化への課題は、システム開発とそれに携わる要員確保ができないことと結論付けている。

第 2 章「青森県企業のＩＴ化の現状」では、我々が独自に実施したアンケート調査に基づいて、県内卸・小売企業のＩＴ化の現状について確認・分析し、問題点や課題を抽出している。具体的には、コンピュータの活用状況やネットワークツールの活用状況、ソフトウェア開発方法、コンピュータシステム要員、コンピュータ教育、携帯電話の活用、今後のＩＴ化への取り組み、今後のＩＴ化での障害について分析している。

第 3 章「事例研究」では、卸・小売に関連する企業 10 社のＩＴ化を、ＩＴ導入のきっかけ・目的、システム概要、ＩＴ活用の効果、ＩＴ活用に関する今後の方針の 4 テーマに関して詳しく調査・研究を行っている。

第 4 章「青森県中小企業ＩＴ化の今後の展望」では、平成 16 年から 2 年にわたって実施した本調査に基づいて、製造業と卸・小売業のアンケート結果を比較することで、業種による特徴や違い・共通点等を明確にし、問題点や課題を抽出し、今後の対応等を提案している。具体的には、コンピュータの活用状況やネットワークツールの活用状況、ソフトウェア開発方法とコンピュータ教育、今後のグループウェアの活用、今後のＩＴ化での障害について分析している。

また、第 1 章で結論付けた県内中小企業のＩＴ化への課題である、「システム開発とそれに携わる要員確保ができないこと」が調査で未だに解決していないことが明確になったため、これら障害を解決するための施策もまとめている。是非一読し、参考・活用していただきたい。

第 5 章「アンケート集計結果」では、今回実施したアンケート調査の各項目の集計を詳細に行っている。本報告が、県内中小企業の「ＩＴ化」推進と青森県の産業競争力の向上にわずかながらでも貢献できることを願っている。